学校番号	1008

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	(学)情報研究Ａ	単位数	２単位	年次	2,3年次
使用教科書	なし						
副教材等	日本情報処理検定協会　表計算・プログラミング技能検定						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

表計算ソフト（ＭＳ-Ｅｘｃｅｌ）は事務処理を行うための非常に強力なツールで、Ｗｏｒｄとともに社会で広く使用されているソフトです。活用できるようになれば、職場はもちろん大学での学習でも即役立つことは間違いありません。この授業では検定の受検も視野に入れながら、基本的な操作からやや応用までを含んだ表計算ソフトの活用が自在にできるようになることをめざします。後半は日本情報処理検定協会のプログラミング技能検定試験に関する内容を学習します。

2　学習の到達目標

表計算ソフトウェアの操作に習熟し、社会での活用を視野に入れた実践的な課題が解決できるように、基本的な考え方について理解を深める。プログラミング技能検定試験で使われる HTML と Javascript についての知識・理解を深める。
【知識・技能】
アルゴリズムや表計算ソフトについて基本的な操作や知識について理解している。
【思考・判断・表現】
問われている問題を理解し、論理的に適切かつ効果的に活用することができる。
【主体的に学習に取り組む態度】
アルゴリズムや表計算ソフト等の操作方法を主体的に取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	表計算ソフトウェアの知識・技能が身に付いている。HTML・Javascript の基本的な知識・技能が身に付いている。	表計算の課題の作成において、数式またはどういった関数を利用するか思考･判断し、最適な表現を行うことができる。HTML・Javascript に関しては、アルゴリズムを理解し、コードに置き換えて、実行することができる。	意欲的に数多くの課題に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表計算ソフトの基礎	行・列・セル 計算の書式 四則計算 基本関数 複雑な関数 罫線・網掛け・フォント 見やすい表の作成	a:基本事項が定着している。 b:課題の作成において、最適な表現を行うことができる。 c:意欲的に数多く課題に取り組めている。	課題 実習実習	課題 実習考査	授業態度
2学期	HTML、Javascript の基本と応用	HMLT タグ Javaxript の操作 ・順次 ・分岐 ・繰り返し 上記の組み合わせ	a:基本事項が定着している。 b:課題の作成において、最適な表現を行うことができる。 c:意欲的に数多く課題に取り組めている。	課題 実習考査	課題 実習考査	授業態度
3学期	表計算ソフトの応用	グラフの作成 グラフの種類と特徴 データに適したグラフ データの抽出とソート データベース関数 計算、作表、グラフ作成の組み合わせ	a:グラフやデータの基本事項が定着している。 b:課題の作成において、最適な表現を行うことができる。 c:意欲的に数多く課題に取り組めている。	課題 実習考査	課題 実習考査	授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度